

MIYU 2022

Public University Corporation MIYAGI UNIVERSITY

令和4年度入学

# 宮城大学入試ガイド

入学者選抜に関する問い合わせは  
宮城大学 アドミッションセンター

大和キャンパス／〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1  
TEL.022-377-8333 FAX.022-377-8282  
宮城大学ウェブサイト <https://www.myu.ac.jp/>



# Contents

## 総合型選抜

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 1. 選抜方法と日程               | 3  |
| 2. 総合型選抜はこんな方にオススメ！      | 4  |
| 3. 総合型選抜の概要              |    |
| (1) 出願書類                 | 4  |
| 自己申告書(1 ページ目)            | 5  |
| 自己申告書(2 ページ目)            | 6  |
| (2) 第 1 次選考              | 7  |
| レクチャー①・レクチャーレポート         | 7  |
| (3) 第 2 次選考              | 9  |
| レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート | 9  |
| 面接(口頭試問を含む。)             | 10 |

## 学校推薦型選抜

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 1. 選抜方法と日程            | 12 |
| 2. 学校推薦型選抜はこんな方にオススメ！ | 12 |
| 3. 入試科目「面接」の概要        | 12 |

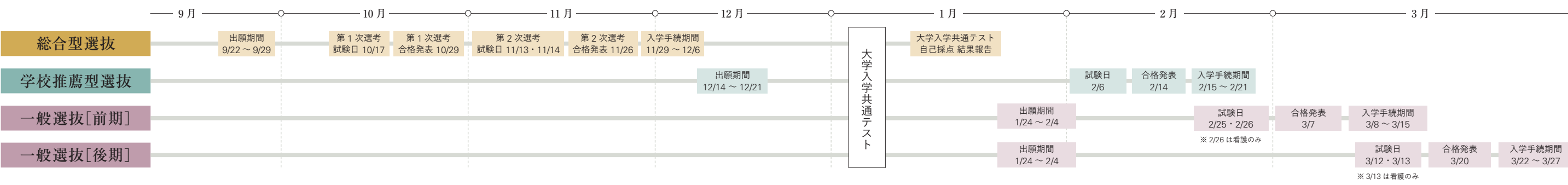
## 一般選抜[前期・後期]

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 1. 選抜方法と日程                | 13 |
| 2. 大学入学共通テストおよび個別学力検査の科目等 | 13 |
| 3. 入試科目「論説」の概要            | 15 |
| 4. 一般選抜における主体性等の評価        | 16 |

## 入学者選抜方法についての Q & A

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 令和 3 年度入学 入試結果          | 19 |
| 令和 3 年度出身校所在地別志願者数・入学者数 | 19 |

# Schedule 令和 4 年度入学 入試スケジュール



# 令和 4 年度入学 宮城大学入学者選抜方法

新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、令和 4 年度入学者選抜については、選抜方法や選抜日程の変更等の可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。なお、選抜方法や選抜日程に変更等が生じる場合は、速やかに本学ウェブサイトにて公表いたします。<https://www.myu.ac.jp/admissions/colleges/>

## 学類単位の入試

### 総合型選抜 (P.3 参照)

入試科目

|     |         |                                                     |                            |
|-----|---------|-----------------------------------------------------|----------------------------|
| 各学類 | 第 1 次選考 | 1. レクチャー①<br>2. レクチャーレポート                           | 3. 提出書類                    |
|     | 第 2 次選考 | 1 日目: 1. レクチャー②<br>2 日目: 4. 面接(口頭試問を含む。)<br>5. 提出書類 | 2. グループワーク<br>3. ふりかえりレポート |

●レクチャー①、レクチャーレポート、提出書類による第 1 次選考を行い、合格者に対して第 2 次選考を行います。第 2 次選考では 2 日間の試験を通して、「課題を設定し、見直し、解決し、振り返る力」を評価します。  
●高等学校長からの推薦は要しませんので、どなたでも出願できます。  
●本学が指定する大学入学共通テスト科目を受験していただき、入学手続後に自己採点のスコアを提出していただきます。  
●本学の一般選抜や学校推薦型選抜との併願ができます。

※このほか、外国人留学生入試を実施します。

入学時に決定した学類のまま、2 年次に進むことができます。

原則として、途中で学類を変更することはできません。

## 学群単位の入試

### 学校推薦型選抜 (P.12 参照)

入試科目

|     |           |    |
|-----|-----------|----|
| 各学群 | 大学入学共通テスト | 面接 |
|-----|-----------|----|

●大学入学共通テストの受験を課し、合計点を総合判定の一部として利用します。  
●本学の一般選抜や総合型選抜との併願ができます。

### 一般選抜[前期・後期] (P.13 参照)

入試科目

|        |           |     |    |    |
|--------|-----------|-----|----|----|
| 看護学群   | 大学入学共通テスト | 外国語 | 論説 | 面接 |
| 事業構想学群 |           | 外国語 | 論説 | 数学 |
| 食産業学群  |           | 外国語 | 理科 | 数学 |

※このほか、社会人・帰国子女入試を実施します。

2 年次進級時に、学類配属を決定します。

※看護学群は 1 学類のため、全員が看護学類で学ぶことになります。

# 総合型選抜

## 1 選抜方法と日程

|                 |                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                        |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 募集人員            | <b>看護学群</b> ：看護学類 8 名<br><b>事業構想学群</b> ：事業プランニング学類 8 名 ／ 地域創生学類 8 名 ／ 価値創造デザイン学類 8 名<br><b>食産業学群</b> ：生物生産学類 8 名 ／ フードマネジメント学類 8 名<br><br>大学入学共通テストの受験が必要です。<br>大学入学共通テストの出願期間については、大学入試センターが発表する実施要項を確認してください。 |                                                                                        |
| 出願期間            | 令和 3 年 9 月 22 日（水）～令和 3 年 9 月 29 日（水） 【期間内必着】                                                                                                                                                                   |                                                                                        |
| 第 1 次選考         | 令和 3 年 10 月 17 日（日）<br>第 1 次選考では、次の活動と出願書類により選考を行います。                                                                                                                                                           |                                                                                        |
|                 | レクチャー①                                                                                                                                                                                                          | 講師によるレクチャー（あるテーマについて、さまざまな資料やデータを用いて事例紹介や説明等を行う）を受講する。                                 |
|                 | レクチャーレポート                                                                                                                                                                                                       | レクチャー①の内容に関するレポート（設問形式）を作成する。                                                          |
|                 | 自己申告書<br>〈出願時に受験者が作成〉                                                                                                                                                                                           | 自己を推薦する文章および学修計画に関する文章を作成する。                                                           |
|                 | 調査書<br>〈出願時に出身高校等で作成〉                                                                                                                                                                                           | 高校等での学業成績や活動の記録・評価等を記載する。                                                              |
| 第 1 次選考<br>合格発表 | 令和 3 年 10 月 29 日（金）                                                                                                                                                                                             |                                                                                        |
| 第 2 次選考         | 第 2 次選考では、第 1 次選考に合格した方に対して、2 日間の活動を通した選考を行います。                                                                                                                                                                 |                                                                                        |
|                 | 1 日目〈令和 3 年 11 月 13 日（土）〉                                                                                                                                                                                       |                                                                                        |
|                 | レクチャー②                                                                                                                                                                                                          | 講師によるレクチャー（レクチャー①のテーマを踏まえた内容について、さまざまな資料やデータを用いて事例紹介や説明等を行う）を受講する。                     |
|                 | グループワーク                                                                                                                                                                                                         | レクチャー②に関するテーマについて、少人数のグループで議論を行う。                                                      |
|                 | ふりかえりレポート                                                                                                                                                                                                       | 一連の過程を振り返り、自身の思考の変化や深まりをレポートにまとめる。                                                     |
|                 | 2 日目〈令和 3 年 11 月 14 日（日）〉                                                                                                                                                                                       |                                                                                        |
|                 | 面接<br>（口頭試問を含む。）                                                                                                                                                                                                | 高校までの基礎的な学習成果を問う口頭試問、志望する学類への意欲や資質を問う面接を行う。<br>※口頭試問では、「英語」と「数学」に関する基礎的な内容の口頭試問を実施します。 |
| 第 2 次選考<br>合格発表 | 令和 3 年 11 月 26 日（金）                                                                                                                                                                                             |                                                                                        |
| 入学手続き後          | 本学入学後の指導の参考とするため、令和 4 年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定する科目を受験し、自己採点結果を報告していただきます。                                                                                                                                          |                                                                                        |

## 2 総合型選抜はこんな方にオススメ！

- ・大学で学びたいことや、進みたい学類が決まっている方
- ・学類での学修に対する強い意欲や高い資質のある方
- ・高等学校までの総合的な学習の時間等で問題解決型の活動に意欲的に取り組んできた方

## 3 総合型選抜の概要

### 重視する「高校等での学習」の成果

総合的な学習の時間や各教科等での、①問題解決型の活動が発展的に繰り返される探究学習、②互いの考えを伝え合い、自身の考えを発展させる等、他者と協働して課題を解決する学習、③自ら得た情報を分析・評価し、まとめ、表現する学習等  
例：総合的な学習の時間での探究活動・協働的な学習・言語活動、SSH での科学的探究活動、SGH でのグローバル探究学習、専門高校でのプロジェクト学習等

### 総合型選抜で評価する資質や能力

これまでの学習に基づく学力の基盤や、高校等での探究的活動に裏付けされた課題発見・解決能力に加えて、自身の興味や関心に基づいた、学類での学修に対する強い意欲や高い資質

### （1）出願書類

自己申告書は受験者本人が作成したものを、調査書は高校等で作成されたものを提出してください。

#### ①自己申告書（1 ページ目）

|                      |                                                                         |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 自己申告書（1 ページ目）の内容     | これまで（主に高校等）の学習成果やそのことによって得た自身の強みについて、事実に基づいて示し、自己を推薦する文章を作成する。 ※ P.5 参照 |
| 「高校等での学習」の成果として重視する点 | 高校等での学びの実践を通して、主体的に学び考え、自ら課題を設定し、興味や関心を追究する力や態度が身についている。                |
| 評価する資質や能力            | これまでの学習や活動の実績に裏付けられた自身の強みについて、根拠を提示しながら、筋道を立てて説得力のある文章で表現できる力。          |

#### ②自己申告書（2 ページ目）

|                      |                                                                                                                          |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自己申告書（2 ページ目）の内容     | 志望する学類への興味や関心をもとに、志望する学群・学類を卒業した後の目標を実現するために「何を」「どのように」学びたいか、自身の学びの展望を提示し、学修計画を立てる。 ※ P.6 参照                             |
| 「高校等での学習」の成果として重視する点 | 見通しをもって、自身の興味や関心をよく整理した上で、入学後の目標を設定し、その実現に向けた道筋を計画する力や態度が身についている。                                                        |
| 評価する資質や能力            | 自ら志望する学類への興味や関心をもとに、志望する専門分野の学問的意義や社会的位置付けを関連させながら志望する学群・学類を卒業した後の目標を設定し、その実現に向けた自身の展望を、根拠を提示しながら、筋道を立てて説得力のある文章で表現できる力。 |

#### ③調査書

|           |                                                                                                     |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 評価する資質や能力 | ・高校等での学業成績（評定平均値を含む。）等の観点からみた学力の基盤。<br>・調査書における「指導上参考となる諸事項」および「総合的な学習の時間の内容・評価」やその他の記載事項からみた学習内容 等 |
|           | ※総合的な学習の時間を履修しなかった者（研究開発学校、専門学科）については、総合的な学習の時間に代わる活動の内容・評価を記した副申書をもって代えることができる。                    |

作成にあたって

- ・学習成果とは、各教科の学習（総合的な学習の時間を含む。）、ホームルーム活動、生徒会活動および学校行事での成果のことを指します。課外の部活動や学外活動（ボランティア活動等）について述べる場合も、各教科の学習（総合的な学習の時間を含む。）やホームルーム活動、生徒会活動および学校行事と関連づけて書いてください。
- ・学習成果は、「～を経験した」「～ができた」「～の成果を残した」という事実や結果の列挙だけではなく、そこに至るまでの過程や、どのように考えて活動したか、また、それらを通して自分が何を学んだか等を具体的に書いてください。
- ・高等学校等での学習（例えば探究学習等）を通して得た「これだけは誰にも負けない」という自分の強みについて書いてください。
- ・他人の言葉や書籍・インターネットから引用するのではなく、自分の経験を踏まえ、自分の言葉で書いてください。

令和4年度入学 宮城大学 総合型選抜

自己申告書

受験番号

|         |      |          |
|---------|------|----------|
| 志望学群・学類 | 学群   | 学類       |
| フリガナ    | 性別   | 男・女      |
| 氏名      | 生年月日 | 平成 年 月 日 |

①あなたのこれまでの学習成果や、それによって得られた自分の強みについて、主体的に取り組み実践した過程を根拠に示しながら説明してください。その上で、文章に表題もつけてください。

表題

※ 受験番号を除き、必要事項すべてを記入し、又は該当項目に○印を付けてください。

1 / 2 ページ

①あなたのこれまでの学習成果や、それによって得られた自分の強みについて、主体的に取り組み実践した過程を根拠に示しながら説明してください。その上で、文章に表題もつけてください。

自己を推薦する文章に表題をつけ、記入してください。

- ・枠内でのみ作成してください。
- ・手書きの文章のみ可。ワープロの使用、図や写真の挿入は不可とします。
- ・資料（賞状の写し、新聞記事、論文、CD等）の添付は認めません。

作成のポイント

- ・これまでの学習のなかで、課題を自分で見つけて、それを解決するための活動や情報収集を行った経験があれば、その過程を具体的に記載しよう。
- ・その結果、どのようなことが得られたのか、学習と得られたこととのつながりがわかるように記載しよう。
- ・学習の過程で、新しい気づきがあったか、自分の強みは何か、振り返って考えてみよう。自分を分析してみることが大切！
- ・ほかの人にはない自分の特徴をアピールしよう。

作成にあたって

- ・単に「～を学びたい」「～をしたい」ということを書くのではなく、なぜその分野に興味を持ったのか、興味を持ったことに対してこれまでにどのような活動をしたのか等を具体的に書いた上で、入学後の学修に対する自らの展望を説明してください。
- ・志望する学群・学類が持つ学問的意義や社会的位置付けを明確にしながら、志望分野への強い意欲や、自ら積極的に学ぼうとする姿勢等を、自分の言葉で書いてください。
- ・大学での4年間の学びにとどまらず、大学卒業後の自分の将来の姿をイメージし、関連させながら書いてください。

フリガナ

氏名

受験番号

②あなたが、志望する学群・学類を卒業した後の目標を実現するために、「何を」「どのように」学びたいのかを計画し、文章で書いてください。

※ 受験番号を除き、必要事項すべてを記入し、又は該当項目に○印を付けてください。

2 / 2 ページ

②あなたが、志望する学群・学類を卒業した後の目標を実現するために、「何を」「どのように」学びたいのかを計画し、文章で書いてください。

- ・枠内でのみ作成してください。
- ・手書きの文章のみ可。ワープロの使用、図や写真の挿入は不可とします。
- ・資料（賞状の写し、新聞記事、論文、CD等）の添付は認めません。

作成のポイント

- ・志望する分野に興味を持ったきっかけや理由を具体的に記載しよう。
- ・志望する分野に関連することについて、自分で活動したり、調べたりしたことがあれば、必ず記載しよう。
- ・大学での学びへの熱い思いを記載しよう。将来の「夢」だけではなく、入学後にいつ、何を、どのように学んでいくのかなど、できるだけ具体的に「計画」を立ててみよう。
- ・大学での学びは、社会ではどんな意味があるのか、調べてみよう。ウェブサイトでは研究内容の紹介もしているので、興味のある分野を覗いてみることもおすすめ！



（２）第１次選考

第１次選考では、以下の活動（レクチャー①、レクチャーレポート）を評価した成績に加えて、自己申告書、調査書の内容を総合的に判定して選抜を行います。

| 試験科目            | 内 容                      | 評 価               |
|-----------------|--------------------------|-------------------|
| レクチャー①（50 分）    | 講師によるレクチャー①を受講します。       | レクチャーレポートを対象とします。 |
| レクチャーレポート（80 分） | レクチャー①の内容に関するレポートを作成します。 |                   |

レクチャー①・レクチャーレポート

|                       |                                                                                                               |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| レクチャー①・レクチャーレポートの内容   | レクチャー①（あるテーマについて、さまざまな資料やデータを用いて事例紹介や説明等を行う。）を受講し、その後、レクチャー①の内容に関するレポート（設問形式）を作成する。                           |
| 「高等学校での学習」の成果として重視する点 | 聴講活動を通して、課題意識をもち、得られた事象や情報を整理・分析し、概要にまとめ、論述する力や態度が身についている。                                                    |
| 評価する資質や能力             | 与えられた事象や情報を的確に把握し、その中から必要なものを抽出・分析する力。さらに、自身が探究すべき課題を設定し、高校等での学習や自身の経験をレクチャー①の内容と関連付けながら、その解決への道筋を考察し、論述できる力。 |

【参考】昨年のレクチャー①・レクチャーレポートの内容例（実際のものと表現は少し異なります。）

〈レクチャー①概要〉

日常生活の中で当たり前利用できる水道をはじめとした水資源であるが、わが国でもたびたび渇水が発生している。世界にはより深刻な状況におかれている地域もあることを踏まえ、わが国の状況や安定的に水を利用するための方法や課題についてレクチャーを行った。

まず、世界の水資源の状況について、地球上の水、降水量の全てを利用できるわけではないことを説明し、いくつかの国の一人当たりの降水量、水資源賦存量、水資源利用量を比較し、地域的に偏りがあることを確認した。日本は比較的恵まれた水の利用環境にあるが、それでも渇水が問題になることもあり、ダムによっては水資源を安定的に利用するしくみがあることについて説明をした。最後に、水資源を考える際は、直接的に水を使う場面だけでなく、輸入食料を含めた農業用水などについても考慮する必要があることを説明した。

〈レクチャー①資料〉

- 図表 1 仙台の水道を支えるダム群
- 図表 2 仙台市の年間給水量および給水普及率の推移
- 図表 3 世界における SDGs 目標 6 の達成状況
- 図表 4 地球上の水の内訳
- 図表 5 日本で使用している水資源
- 図表 6 日本とインドの水資源の状況
- 図表 7 降水量、水資源賦存量、水資源使用量の比較
- 図表 8 世界の地域別 1 人当たりの水資源賦存量の推移・予測
- 図表 9 世界の地域別人口の推移・予測
- 図表 10 世界の水資源使用量の推移・予測
- 図表 11 世界の水需要の予測
- 図表 12 日本で使用している水
- 図表 13 日本の年平均降水量の推移
- 図表 14 ダムがない場合の河川流量
- 図表 15 ダムがない場合の下流部の河川流量曲線
- 図表 16 日本の農産物輸出入額
- 図表 17 スペイン・インド・イランからの輸入農産物等の上位 5 品目

〈レクチャーレポート設問〉

- 問 1 世界の水資源の現状及び将来に関する以下の設問に答えなさい。
- (1) 図表 8 のデータから 2025 年の 1 人当たりの水資源賦存量を予測した場合、アジアは 2,536㎡、アフリカは 2,853㎡になると仮定する。その場合、2025 年時点で水不足がより深刻になるのはどちらであると考えられるか。資料を活用して理由とともに述べなさい。
  - (2) 図表 10 と図表 11 では、世界の水需要が将来的に増加することを予測している。水需要量増加の要因としてどのようなことが考えられるか仮説を立てなさい。さらに、その仮説を確かめようとするとき、どのようなデータを使ってどのように確かめればよいか答えなさい。

⇒ねらい：データに基づき、論理的に説明できるかをみる。(1) では、比較すべき適切な値を複数の図表から導き出して考察することができるか、(2) では、仮説を立て、それを検証するために必要となるデータを明示できるかをみる。

- 問 2 日本において水資源を安定的に利用するための対策として、節水及びダムの機能について以下の設問に答えなさい。
- (1) 図表 12 から、日本における使用水量に占める生活用水量の量は何％かを、計算式とともに小数第 1 位まで求めなさい（少数第 2 位を四捨五入する）。
  - (2) 河川からの取水量が 5％減少したとき、その減少分を全て生活用水の節水でまかなうこととする。その場合、何％節水しなければならぬかを、計算式とともに小数第 1 位まで求めなさい（少数第 2 位を四捨五入する）。
  - (3) (2) で求めた節水率を、各家庭で実現させようとするとき、どのように節水すればそれが可能となるか。下図の「家庭用水の目的別使用割合」も参考にして、具体的な根拠を示しながら論じなさい。

新たに図が示される。

- (4) レクチャーで示したように、ダムは洪水調整・水不足時の流量調整の機能を果たしている。仮に、この先の降水量の予測から下図の破線のような河川流量が想定されているとする。ダムによりどのような河川流量に調整できると考えられるか、実線で図示しなさい。さらに、そのように考えた理由を述べなさい。

新たに図が示される。

⇒ねらい：必要な情報を抽出し、分析（割合の計算）、考察することができるか、また、レクチャーで解説した考え方を条件が異なる場合に応用できるかをみる。

- 問 3 降水量の推移、水需要の推移に関して、以下の設問に答えなさい。
- (1) 下の表は図表 13 のデータについて、1920 年からの 50 年間と 1970 年からの 50 年間に分けて平均値と標準偏差を求めたものである。図表 13 及びこの表から、1920 年からの 50 年間と 1970 年からの 50 年間の雨・雪の降りかたの違いについて、わかることを述べなさい。

新たに図が示される。

- (2) 「日本では生活用水使用量と 1 人当たり平均使用量が減少してきている（下図参照）。人口が減少してきている日本では、今後水需要は減少すると考えられるため、水不足は差し迫った問題ではない。」という意見に対し、レクチャー資料を活用して反論を述べなさい。

新たに図が示される。

⇒ねらい：統計の数値やグラフから、情報を的確に読み取り、考察することができるかをみる。

レクチャー①・レクチャーレポートのポイント

- ・レクチャー①で説明される内容を、理解しながらしっかりメモしておこう。
- ・レクチャー①やレクチャーレポートでは、グラフや表が多く出てきます。グラフや表からどんなことが読み取れるのか、普段から考える癖をつけておこう。
- ・読み取った内容を文章で適切に表現できるようにしておこう。

（３）第２次選考

第１次選考に合格した方に対して、２日間の活動を行い、２日間の活動を評価した成績および自己申告書、調査書等の出願書類の内容を総合的に判定して選抜を行います。

| 選抜日程 | 試験科目               | 内 容                                                                                                                 | 評 価                   |
|------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| １日目  | レクチャー②（50 分）       | 講師によるレクチャー②を受講します。<br>レクチャー②の内容は、レクチャー①のテーマを踏まえ、多様な視点等を加えて発展させたものを予定しています。                                          | 主としてふりかえりレポートを対象とします。 |
|      | グループワーク（60 分）      | レクチャー②に関連するテーマについて、少人数のグループで議論を行います。                                                                                |                       |
|      | ふりかえりレポート（80 分）    | レクチャー②から一連の過程を振り返り、レポートを作成します。                                                                                      |                       |
| ２日目  | 面接（口頭試問を含む。）(25 分） | 高校までの基礎的な学習成果を問う口頭試問および志望する学類への意欲や資質を問う面接を受けます。<br>１人あたり 25 分間の面接を行います。内訳は以下のとおりです。<br>・口頭試問（約 15 分）<br>・面接（約 10 分） | 口頭試問を重視します。           |

レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート

|                             |                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポートの内容 | レクチャー②（レクチャー①のテーマを踏まえた内容について、さまざまな資料やデータを用いて事例紹介や説明等を行う。）を受講し、その後、レクチャー②に関連するテーマについて、少人数のグループで議論（グループワーク）を行う。グループワーク終了後、レクチャー②から一連の過程を振り返り、自身の思考の変化や深まりをレポートにまとめる。 |
| 「高校等での学習」の成果として重視する点        | 他者と協働して課題を解決することができる力や、課題解決に至るまでのプロセスの中で、自身の思考の変化や深まりに気づく力が身についている。                                                                                                |
| 評価する資質や能力                   | 自身の考えを他者と共有し、進んでグループに貢献する力や、他者の意見や問題提起等を受け、さまざまな意見を比較しながら、自身の思考を展開する力。さらに、自身の思考の展開について、根拠を示しながら、筋道を立てて説得力のある論述ができる力。                                               |

【参考】昨年のレクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポートの内容内容例（実際のものと表現は少し異なります。）

〈レクチャー②概要〉

レクチャー①で取り上げた湯水問題に加え、水質保全のためにも健全な水循環を維持していくことが重要であるが、中でも森林がもつ様々な働きに着目し、森林保全への意識や取り組みについてレクチャーを行った。  
まず、日本において健全な水循環を実現するために取り組むべき課題を概観し、健全な水循環において、森林が重要な意味をもっていることを説明した。次に、健全な水循環を維持するための取り組みを考える上で参考になる、水や森林に対する国民の意識を紹介するとともに、すでに全国各地で行われている健全な水循環を維持するための様々な取り組み事例を紹介した。最後に、各自で「仮想都市において健全な水循環を維持するための対策」を検討する準備を行った。

〈レクチャー②資料〉

- 図表 1 水の循環
- 図表 2 健全な水循環を維持するために取り組むべき課題
- 図表 3 水道水の水源
- 図表 4 河川・湖沼の環境基準達成率の推移
- 図表 5 土壌が雨水を浸透させる能力の比較
- 図表 6 森林の間伐
- 図表 7 森林がもつ様々な働き
- 図表 8 水道に関して深刻な問題だと認識している割合
- 図表 9 森林に期待する働き
- 図表 10 日常において森林でどのようなことを行いたい
- 図表 11 森林維持への参加意識
- 図表 12 健全な水循環の維持または回復のために
- 図表 13 岡崎市（愛知県）における取り組み事例
- 図表 14 間伐材を利用した取り組みの事例
- 図表 15 仮想 A 県 B 市の基本情報

〈グループワークテーマ〉

仮に、自分たちが仮想 A 県 B 市の都市部に住んでいるとする。その B 市において、健全な水循環の維持するため、森林の保全に取り組むとする。その際、行うべき対策について意見を出し合い、議論しなさい。  
議論する際には、以下の点に注意すること。  
・A 県 B 市の情報（レクチャー②資料冊子にある図表 15 と以下の図表 16）を参考にして議論する  
・B 市の住民の意識として、図表 8 ～ 11 の調査結果を適用できるものとする  
・「レクチャー②資料冊子」にあるデータを活用し、根拠を持って議論する  
・出された意見の有効性や実現可能性についても議論する

〈グループワーク資料〉

図表 16 A 県 B 市の情報

〈ふりかえりレポート設問〉

- 問 1 資料冊子を含むレクチャー②の内容に基づき、以下の設問に答えなさい。
- (1) 健全な水循環を維持するために、森林の保全が重要である理由を説明しなさい。
  - (2) 健全な水循環を維持するための対策を検討する際に、図表 8 ～ 11 の意識調査の結果をどのように活用できると考えるか、理由とともに述べなさい。
  - (3) 図表 15 を踏まえ、仮想 A 県 B 市の森林保全が困難になっていくと予想される理由を説明しなさい。

⇒ねらい：レクチャーの内容を正しく理解し、複数の資料を活用して課題を明確にし、自らの主張を組み立てることができるかをみる。

- 問 2 仮想 A 県 B 市において、健全な水循環を維持するための森林保全の対策について、以下の設問に答えなさい。
- (1) 最終的に、あなたが考える最も優先して取り組むべき対策について、その対象者や地域を明示しながら述べなさい。なお、あなたの考えとグループの考えが異なっても構わない。
  - (2) 資料冊子を含むレクチャー②の内容やグループ内での議論を踏まえ、(1) の対策が優先的かつ有効であると考えてに至った理由を、具体的な根拠を示しながら説明しなさい。
  - (3) (1)、(2) を踏まえ、最終的にあなたが考える最も優先して取り組むべき対策の実行可能性及び課題を、具体的な根拠を示しながら述べなさい。

⇒ねらい：グループワークでの他者の意見を参考に自らの考えを深め、自らの主張を根拠に基づいて論じるとともに、客観的に評価できる力をみる。

レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポートのポイント

- ・レクチャー②では、レクチャー①同様に説明される内容を、理解しながらメモをとり、自分の考えを整理しよう。
- ・グループワークでは、自分以外の受験者の意見を聴いて、納得したり、ここが自分の考えとは違うなと感じたりしながら、自分の考えをできるだけ深めるようにしましょう。議論に積極的に参加することが、自分の考えの整理にも役立ちます。
- ・ふりかえりレポートでは、グループワークで議論したことを踏まえて、自分の考え方がどのように広がったり、変化したり、確かなものになったか、文章で表現しよう。

面接（口頭試問を含む。）

|                      |                                                                                          |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 面接（口頭試問を含む。）の内容      | 基礎的な学習成果に基づく口頭試問、志望する学類での学修に対する意欲や資質を問う面接を行う。<br>※口頭試問では、「英語」と「数学」に関する基礎的な内容の口頭試問を実施します。 |
| 「高校等での学習」の成果として重視する点 | 自身の興味や関心を整理し、入学後の学修を見通す力や態度が身についている。                                                     |
| 評価する資質や能力            | 高等学校までの基礎的な学習成果および高等学校等での学びの実践に基づく、学類での学修に対する強い意欲や高い資質。                                  |

昨年の口頭試問の内容例
 （実際のものとは表現は少し異なります。）

〈英語〉

【提示資料】

Johnny went to the public library to use the computer there. When he went to the reception desk, he realized that he had forgotten to bring his library card to log in. He then tried find (            ) what to do. The librarian said that if he had any form of <sup>(1)</sup>identification with him, she could look up his account in the database. Johnny showed her his driver's license, which had his name and address on it, and finally, he got a <sup>(2)</sup>temporary password to access the computer.

【口頭試問内容】

問1 （            ）に入れるのに最も適切な語をア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア for  
イ at  
ウ in  
エ out

問2 次の質問に、問題文中にある英語で答えなさい。  
What does <sup>(1)</sup>identification refer to?

問3 問2の答によって、問題文に書かれた場面では何ができるのか、日本語で説明しなさい。

問4 下線部(2)の語の意味と最も近い語をア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア long-term  
イ casual  
ウ limited-time  
エ rapid

問5 この文に付けるタイトルとして最も適切なものをア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア The Library Card Forgets  
イ The Library Card to Forget  
ウ The Forgotten Library Card  
エ The Forgetting Library Card

〈数学〉

【口頭試問内容】

問1 次のデータの中央値と第1四分位数<sup>しぶんいすう</sup>を求めよ。

- (1) 1, 2, 3, 4, 5  
(2) 1, 2, 3, 4, 5, 6

問2 実数aに対して、その絶対値<sup>ぜったいちえー</sup>|a|が表すものと同じものをすべて選べ。

- (1) a  
(2) a ≧ 0 のとき, a  
a < 0 のとき, -a  
(3) a ≧ 0 のとき, -a  
a < 0 のとき, a  
(4)  $\sqrt{a^2}$

# 学校推薦型選抜

## 1 選抜方法と日程

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |         |     |         |     |     |     |    |    |     |     |     |     |     |     |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----|---------|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 募集人員           | 看護学群：24名<br>事業構想学群：40名<br>食産業学群：28名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |     |         |     |     |     |    |    |     |     |     |     |     |     |
| 出願資格           | 令和4年度大学入学共通テストのうち指定する教科・科目をすべて受験し、次の(1)から(4)までのすべてに該当する方<br>(1) 高等学校または中等教育学校を令和4年3月に卒業見込みの方<br>(2) 志望する学群に対し、熱意と適性を有する方で、高等学校または中等教育学校の長が責任を持って推薦できる方<br>(3) 合格した場合には、必ず入学することを確認できる方<br>(4) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の方で、人物、学力とも特に優秀である方                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |     |         |     |     |     |    |    |     |     |     |     |     |     |
| 推薦人数の概要        | 看護学群<br>推薦できる人数は、宮城県内の高等学校または中等教育学校から1校あたり2人まで、宮城県外の高等学校また中等教育学校から1校あたり1人とします。<br><br>事業構想学群・食産業学群<br>推薦できる人数は、宮城県内の高等学校または中等教育学校からは1校あたり各学群4人まで、宮城県外の高等学校または中等教育学校からは1校あたり各学群2人までとします。<br>※詳細は令和4年度入学 入学者選抜要項を確認してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |         |     |         |     |     |     |    |    |     |     |     |     |     |     |
| 出願期間           | 令和3年12月14日(火)～令和3年12月21日(火) 【期間内必着】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |     |         |     |     |     |    |    |     |     |     |     |     |     |
| 令和4年度大学入学共通テスト | 試験日：令和4年1月15日(土)・令和4年1月16日(日)<br>〈大学入学共通テストの利用教科・科目〉 <table><tr><td>教科</td><td>国語</td><td>地理歴史・公民</td><td>理科</td><td>数学</td><td>外国語</td><td>合計</td></tr><tr><td>配点</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>250</td><td>850</td></tr></table><br>■国 語：「国語」<br>■地理歴史・公民：「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1<br>■理 科：「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2または「物理」「化学」「生物」「地学」から1<br>■数 学：「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・A」から1かつ「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1<br>■外国語：「英語(リーディング・リスニング)」<br><br>※大学入学共通テスト「外国語(英語)」における配点について、リーディングとリスニングの配点比率を4:1とします。<br>※大学入学共通テスト「外国語(英語)」の取り扱いについて、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングのみの得点を250点満点に換算して採用します。<br>※大学入学共通テスト「地理歴史・公民」を2科目受験した場合は、高い方の得点を合否判定に用います。<br>※大学入学共通テスト「理科」を2科目以上受験した場合は、高い方の得点(基礎科目は2科目で100点満点)を合否判定に用います。 | 教科      | 国語  | 地理歴史・公民 | 理科  | 数学  | 外国語 | 合計 | 配点 | 200 | 100 | 100 | 200 | 250 | 850 |
| 教科             | 国語                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 地理歴史・公民 | 理科  | 数学      | 外国語 | 合計  |     |    |    |     |     |     |     |     |     |
| 配点             | 200                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 100     | 100 | 200     | 250 | 850 |     |    |    |     |     |     |     |     |     |
| 選抜期日           | 面接実施日：令和4年2月6日(日)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |         |     |         |     |     |     |    |    |     |     |     |     |     |     |
| 選抜方法           | 大学入学共通テストの合計点、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類の内容及び面接の成績を総合的に判定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |         |     |         |     |     |     |    |    |     |     |     |     |     |     |
| 合格発表           | 令和4年2月14日(月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |         |     |         |     |     |     |    |    |     |     |     |     |     |     |

## 2 学校推薦型選抜はこんな方にオススメ！

- ・リーダーシップを発揮し、率先して様々な活動に取り組める方
- ・大学に入学してから、自分の進みたい道(学類)を決めたい方
- ・高校までの、偏りなく幅広く、継続した学習の成果が身についている方

## 3 入試科目「面接」の概要

|           |                                     |
|-----------|-------------------------------------|
| 評価する資質や能力 | 高校等での学びの実践に基づく、学群での学修に対する強い意欲や高い資質。 |
|-----------|-------------------------------------|



# 一般選抜〔前期・後期〕

## 1 選抜方法と日程

|                          |                                                                                                                                                                             |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 募集人員                     | 看護学群：前期 48 名／後期 10 名<br>事業構想学群：前期 100 名／後期 20 名<br>食産業学群：前期 62 名／後期 12 名                                                                                                    |
| 令和 4 年度<br>大学入学<br>共通テスト | 令和 4 年 1 月 15 日（土）～令和 4 年 1 月 16 日（日）                                                                                                                                       |
| 出願期間                     | 令和 4 年 1 月 24 日（月）～令和 4 年 2 月 4 日（金） 【最終日消印有効】                                                                                                                              |
| 個別学力検査                   | 前期：令和 4 年 2 月 25 日（金） 後期：令和 4 年 3 月 12 日（土）<br>看護学群：外国語（英語），論説<br>事業構想学群：外国語（英語），論説，数学<br>食産業学群：外国語（英語），理科，数学<br><br>前期：令和 4 年 2 月 26 日（土） 後期：令和 4 年 3 月 13 日（日）<br>看護学群：面接 |
| 合格発表                     | 前期：令和 4 年 3 月 7 日（月） 後期：令和 4 年 3 月 20 日（日）                                                                                                                                  |

## 2 大学入学共通テストおよび個別学力検査の科目等

| 看護学群                   |                                                                  | 一般選抜(前期日程・後期日程) 共通 |                       |
|------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------------|-----------------------|
| 大学入学共通テストの利用教科・科目等     |                                                                  |                    | 個別学力検査                |
| 教科                     | 科目                                                               |                    | 「外国語」<br>「論説」<br>「面接」 |
| 国語                     | 「国語」                                                             |                    |                       |
| 地理歴史<br>公民             | 「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」<br>「現代社会」「倫理」「政治・経済」<br>「倫理, 政治・経済」         |                    |                       |
| 理科                     | 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から 2 かつ「物理」「化学」「生物」から 1<br>または「物理」「化学」「生物」から 2 |                    |                       |
| 数学                     | 「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学 A」から 1<br>かつ「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学 B」から 1                     |                    |                       |
| 外国語                    | 「英語（リーディング, リスニング）」                                              |                    |                       |
| 5 教科 7 科目または 5 教科 8 科目 |                                                                  |                    |                       |

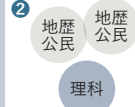
  

| 大学入学共通テスト 選択科目数 |      |               |    |     | 大学入学共通テスト 理科の選択方法                                                                                                             |  |
|-----------------|------|---------------|----|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 国語              | 地歴公民 | 理科            | 数学 | 外国語 |                                                                                                                               |  |
| 1               | 1    | 2<br>または<br>3 | 2  | 1   | <div> <div>①</div> <div>理科基礎</div> <div>理科基礎</div> <div>理科</div> </div> <div> <div>②</div> <div>理科</div> <div>理科</div> </div> |  |

大学入学共通テスト利用教科・科目における注意事項

- 地歴において、「世界史 A」、「日本史 A」、「地理 A」は選択できません。
- 理科において、「地学基礎」、「地学」は選択できません。
- 理科の選択方法について、①（理科基礎あり 2 科目と理科基礎なし 1 科目の選択）の場合、理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。
- 「外国語（英語）」の取り扱いについて、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングのみの得点を換算して採用します。

| 事業構想学群                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                       | 一般選抜(前期日程・後期日程) 共通 |    |                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------|----|-----------------------|
| 大学入学共通テストの利用教科・科目等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                       |                    |    | 個別学力検査                |
| 教科                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 科目                                                                    |                    |    | 「外国語」<br>「論説」<br>「数学」 |
| 国語                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 「国語」                                                                  |                    |    |                       |
| 地理歴史<br>公民                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」<br>「現代社会」「倫理」「政治・経済」<br>「倫理, 政治・経済」              |                    |    |                       |
| 理科                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から 0 または 2<br>かつ「物理」「化学」「生物」「地学」から 0, 1 または 2 |                    |    |                       |
| 数学                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 「数学Ⅰ・数学 A」かつ「数学Ⅱ・数学 B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から 1                             |                    |    |                       |
| 外国語                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 「英語（リーディング, リスニング）」                                                   |                    |    |                       |
| 5 教科 7 科目, 5 教科 8 科目, 6 教科 7 科目または 6 教科 8 科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                       |                    |    |                       |
| 大学入学共通テスト 選択科目数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                       |                    |    |                       |
| 国語                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 地歴公民                                                                  | 理科                 | 数学 | 外国語                   |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 3 または 4                                                               | 2                  | 1  |                       |
| 大学入学共通テスト 地歴公民と理科の選択方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                       |                    |    |                       |
| <div>① </div> <div>② </div> <div>③ </div> <div>④ </div> |                                                                       |                    |    |                       |
| 大学入学共通テスト利用教科・科目における注意事項                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                       |                    |    |                       |
| ●地歴において、「世界史 A」, 「日本史 A」, 「地理 A」は選択できません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                       |                    |    |                       |
| ●①または②（地歴公民から 2 科目選択）の場合, 公民からの 2 科目選択はできません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                       |                    |    |                       |
| ●理科の選択方法について, ③（理科基礎あり 2 科目と理科基礎なし 1 科目の選択）の場合, 理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                       |                    |    |                       |
| ●「外国語（英語）」の取り扱いについて, 受験上の配慮によるリスニング免除者は, リーディングのみの得点を換算して採用します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                       |                    |    |                       |

| 食産業学群                                                                           |                                                             | 一般選抜(前期日程・後期日程) 共通 |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|--------------------|----|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大学入学共通テストの利用教科・科目等                                                              |                                                             |                    |    | 個別学力検査                 |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 教科                                                                              | 科目                                                          |                    |    | 「外国語」<br>「理科」※<br>「数学」 |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 国語                                                                              | 「国語」                                                        |                    |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 地理歴史<br>公民                                                                      | 「世界史 B」「日本史 B」「地理 B」<br>「現代社会」「倫理」「政治・経済」<br>「倫理, 政治・経済」    |                    |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 理科                                                                              | 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から 0 または 2<br>かつ「物理」「化学」「生物」から 0, 1 または 2 |                    |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 数学                                                                              | 「数学Ⅰ・数学 A」および「数学Ⅱ・数学 B」                                     |                    |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 外国語                                                                             | 「英語（リーディング, リスニング）」                                         |                    |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目または6教科8科目                                                 |                                                             |                    |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 大学入学共通テスト 選択科目数                                                                 |                                                             |                    |    | 大学入学共通テスト 地歴公民と理科の選択方法 |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 国語                                                                              | 地歴公民                                                        | 理科                 | 数学 | 外国語                    | <div>① <div>地歴公民</div><div>地歴公民</div><div>理科基礎</div><div>理科基礎</div></div> <div>② <div>地歴公民</div><div>地歴公民</div><div>理科</div></div> <div>③ <div>地歴公民</div><div>理科基礎</div><div>理科基礎</div><div>理科</div></div> <div>④ <div>地歴公民</div><div>理科</div><div>理科</div></div> |
| 1                                                                               | 3 または 4                                                     | 2                  | 1  |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 大学入学共通テスト利用教科・科目における注意事項                                                        |                                                             |                    |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ●地歴において, 「世界史 A」, 「日本史 A」, 「地理 A」は選択できません。                                      |                                                             |                    |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ●理科において, 「地学基礎」, 「地学」は選択できません。                                                  |                                                             |                    |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ●①または②(地歴公民から2科目選択)の場合, 公民からの2科目選択はできません。                                       |                                                             |                    |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ●理科の選択方法について, ③(理科基礎あり2科目と理科基礎なし1科目の選択)の場合, 理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。             |                                                             |                    |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ●「外国語(英語)」の取り扱いについて, 受験上の配慮によるリスニング免除者は, リーディングのみの得点を換算して採用します。                 |                                                             |                    |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ※個別学力検査の「理科」は, 「化学」, 「生物」の2科目から1科目の選択となります。出題範囲は, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」の全範囲とします。 |                                                             |                    |    |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |



### 3 入試科目「論説」の概要

|                      |                                                                                                    |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 論説の内容                | 課題文や資料（文章や図表等）を読み、設問に解答する。                                                                         |
| 「高校等での学習」の成果として重視する点 | 得られた事象や情報を整理・分析し、概要にまとめ、論述する力や態度が身についている。                                                          |
| 評価する資質や能力            | 与えられた事象や情報を的確に把握し、その中から必要なものを抽出・分析する力。さらに、課題を見出し、高校等での学習や自身の経験を資料等の内容と関連付けながら、その解決への道筋を考察し、論述できる力。 |

#### 今年の「論説」の内容例（一部を抜粋しています。）

##### 〈テーマ〉

「日本の農業について」

##### 〈与えられる資料〉

資料1 超長期食料需給予測モデルによる主要国・地域の穀物生産量と需要量の変化に関するグラフ

資料2 農業就業人口の推移に関するグラフ

資料3 稲作の単位面積（10a）当たりの収量と労働時間に関するグラフ

資料4 米生産費における費目別構成割合に関する表

資料5 スマート農業に関する文章

##### 【文章の概要】

近年、農作業における省力化・軽労化、農業生産の安定化・高品質化等を可能にする技術開発の進展に注目が集まっている。これは、農業分野だけではなく、国民生活一般における各種の技術水準を日進月歩の勢いにて飛躍的に向上させているICTを活用した技術開発の分野の貢献によるものである。スマート化技術は、農業生産における省力化・大規模化、軽労化・快適化、安定化・高品質化、熟練農業者の判断や技術の可視化や保護・継承などを目的として開発され活用されている。

資料6 食と農の環境問題に関する文章

##### 【文章の概要】

農林水産業には、農林水産物を作ることを通して、その生態系環境を作ってゆく効果・役割もあり、これは「多面的機能」と言われている。この多面的機能によって、生物多様性をはじめ生態系環境が保全され、生態系サービスとして人間の役に立っている。しかし、近年は、林業も含めて農業・農村が多面的機能を発揮できなくなるほど停滞してきている。

資料7 農業に参入した企業経営者達の農業の課題と可能性に関する対談の文章

##### 【文章の概要】

企業が異分野から農業に参入するきっかけには経済団体全体としての農業の活性化支援への機運の高まりがある。実際に、農業をビジネスの視点でみた時、規模を大きくする産業化や地元と連携した農産物のブランド化などが重要であることがわかった。

##### 〈設問〉

問1 資料1は農林水産省の超長期予測に示されている、主要国・地域の穀物生産量と需要量の変化を図にしたものであり、矢印の始点は1999年～2001年の平均値、終点は2050年における予測値である。次の(1)と(2)の設問に答えなさい。

- (1) 資料1から読み取ることができる、日本以外の各国の穀物生産量と需要量のバランスの変化について150字以内で述べなさい。
- (2) 資料1から読み取ることができる、日本の穀物生産量と需要量の特徴を述べなさい。さらに今後の世界全体の状況をふまえて予想される日本の課題について述べなさい。あわせて150字以内で書きなさい。

⇒ねらい：(1)は図を正確に理解し、適切に事象を読み取る力、(2)はさらに、高校などでの学習と合わせて内容を考察し、課題を抽出する力があるかをみる。

問2 資料2は日本における農業就業人口の推移を示した図、資料3は稲作の単位面積当たりの収量と労働時間を示した図、資料4は米生産にかかる費用全体を100としたときの費目別の割合を示した表である。資料2～資料4のそれぞれから読み取れる事実を示しながら、日本の農業の現状について考察しなさい。200字以内で書きなさい。

⇒ねらい：複数の図表から読み取れる事象を関連付けて考察し、導き出される結論を論理的に記述する力をみる。

問3 資料5～資料7は今後の日本の農業に対する見解を述べたものである。それぞれの資料で述べられている見解を要約しなさい。あわせて200字以内で書きなさい。

⇒ねらい：与えられた文章資料でそれぞれ示されている主旨を的確に読み取り、それらを限られた文字数で適切に記述する力をみる。

問4 あなたはこれまで示されてきた資料から、今後の日本の農業にはどのような課題があり、それをどのように解決していくべきと考えるか。解決するにあたっての具体的な方策と、その方策を行う上での留意点を含め、あわせて300字以内で書きなさい。

⇒ねらい：与えられた資料から課題を抽出し、高等学校での学習や自身の経験と関連付けながら解決への筋道を考察することができるか、これまで示された資料をもとにした考察力と仮説を明確化するための筋道をたてる力をみる。

#### 論説のポイント

- 1つのテーマに関する複数の資料（文章、グラフ、表等）について、それらを関連付けながら読み解くことができるようにしよう。
- 課題になっていることは何か、自分ならその課題にどう対応するかを常に考えるようにしよう。その時に、自分の考えを補強するためにはどんなことを調べたらよいかも、あわせて考えてみよう。
- 普段から、論理的でわかりやすい文章で表現できるように心がけよう。

### 4 一般選抜における主体性等の評価

一般選抜における主体性等の評価は、看護学群では、面接で行います。

事業構想学群と食産業学群では、出願時に調査書と対応した5項目のチェックリストを設け、「活動実績報告書」として出願者に自己申告していただき、全出願者分を採点することとします。記載内容の根拠は、調査書にて確認し、その他の追加資料（eポートフォリオ等）を求めることはしません。

#### 主体性等の評価方法

看護学群：面接（前期日程では2月26日、後期日程では3月13日に実施する）

事業構想学群：活動実績報告書（出願時に自己申告する）

食産業学群：活動実績報告書（出願時に自己申告する）

#### 〈「活動実績報告書」の内容〉

出願時に、以下の5項目のチェックリストを設け、出願者に自己申告していただきます。

出願者は以下の項目に関して自らの取組状況を振り返り、該当するかどうかを自己申告していただきます。

- (1) 高校における学習活動に主体的に取り組んできた
- (2) 部活動・ボランティア活動等に主体的に取り組んできた
- (3) 生徒会・学校行事等に主体的に取り組んできた
- (4) その他の活動に主体的に取り組んできた
- (5) 高校で取得した資格、検定等、獲得した賞がある

※(1)には「総合的な学習の時間」等での探究活動を含みます。

#### 記載内容の根拠の確認について

- 調査書のいずれかの欄に1つでも該当する記述があれば、自己申告の根拠とします。
- 調査書では「事実の記載があるかどうか」を根拠として確認します。記述の多寡は問いません。
- 調査書が提出できない出願者については、インターネット出願サイトより出力される「活動実績報告書」に加えて、別途、具体的な取り組みについての自由記述による「活動実績報告書【追加記述用】」を作成し提出してください。

〔インターネット出願サイトより出力される活動実績報告書〕

〔調査書を提出できない方の活動実績報告書【追加記述用】〕

●●：C-1系

令和3年度入学 宮城大学入学願書 一般選抜試験 ●●日程  
活動実績報告書

※受験番号

※受験番号は別紙にも書かずに提出してください。

|       |  |
|-------|--|
| 入試の種類 |  |
| 志望学群  |  |
| フリガナ  |  |
| 志願者氏名 |  |

わたしは、高等学校等で取り組んできた活動内容を振り返り、チェックリストの5項目について以下のとおり報告します。

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| チェックリスト | (1) 高校における学習活動（「総合的な学習の時間」等での探究活動を含む）に主体的に取り組んできた<br><input type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない<br>(2) 部活動・ボランティア活動等に主体的に取り組んできた<br><input type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない<br>(3) 生徒会・学校行事等に主体的に取り組んできた<br><input type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない<br>(4) その他の活動に主体的に取り組んできた<br><input type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない<br>(5) 高校で取得した資格、獲得した賞がある<br><input type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※ このチェックリストの報告内容は原則として変更できません。手書き等により追加や修正を書き込まないでください。

●●：C-2系

令和3年度入学 宮城大学入学一般選抜試験（●●日程）活動実績報告書【追加記述用】

※受験番号

※本票は、調査書を提出できない方で、**事業構想学群**又は**食産業学群志願者のみ**作成し、提出してください。  
※氏名等を入力し、該当する項目に○印を付してください。また、インターネット出願システムで申告していただいた活動実績報告書に係る5つの項目について、申告欄の「有・無」のどちらかに○印を付してください。なお、申告欄の「有」に○印を付した項目についてのみ具体的な取組等を記載してください。  
※右上の受験番号欄には何も書かないでください。

|      |          |         |
|------|----------|---------|
| 志望学群 | 1 事業構想学群 | 2 食産業学群 |
|------|----------|---------|

|              |                                                  |      |               |
|--------------|--------------------------------------------------|------|---------------|
| フリガナ         |                                                  | 性 別  | 男 ・ 女         |
| 氏 名          |                                                  | 生年月日 | 昭和 ・ 平成 年 月 日 |
| 出 願 時 の申告（1） | （1）高校における学習活動（「総合的な学習の時間」等での探究活動を含む）に主体的に取り組んできた |      |               |
| 有 ・ 無        |                                                  |      |               |
| 出 願 時 の申告（2） | （2）部活動・ボランティア活動等に主体的に取り組んできた                     |      |               |
| 有 ・ 無        |                                                  |      |               |
| 出 願 時 の申告（3） | （3）生徒会・学校行事等に主体的に取り組んできた                         |      |               |
| 有 ・ 無        |                                                  |      |               |
| 出 願 時 の申告（4） | （4）その他の活動に主体的に取り組んできた                            |      |               |
| 有 ・ 無        |                                                  |      |               |
| 出 願 時 の申告（5） | （5）高校で取得した資格、獲得した賞がある                            |      |               |
| 有 ・ 無        |                                                  |      |               |

（※令和3年度入学者選抜で使用したものです。令和4年度入学者選抜では変更が生じる場合があります。）

# 入学者選抜方法についてのQ & A

## ● 総合型選抜に関すること

**Q 1** 総合型選抜には、学校長の推薦書が不要となっていますが、高校等の卒業見込み者だけでなく、既に高校等を卒業した者でも出願できますか。

**A 1** 総合型選抜の出願資格は、学校推薦型選抜と異なり、必ずしも高校等の卒業見込み者であることを求めているわけではありません。令和 4 年度入試では平成 11 年 4 月 2 日以後に出生された方で、その他の要件を満たす方であれば、出願資格があります。

**Q 2** 調査書の評定はどのくらい必要ですか。

**A 2** 総合型選抜では、出願要件としての基準を設けていません。評定だけではなく、調査書の内容を総合的に評価します。（注：学校推薦型選抜の出願要件については、調査書の全体の評定平均値が4. 0以上としています。）

**Q 3** 自己申告書(1ページ目)に記載できるのは、学習の成果だけですか。部活動等について記載しても評価されないのでしょうか。

**A 3** 学習成果(各教科の学習、ホームルーム活動、生徒会活動および学校行事での成果)を評価対象としています。部活動や校外での活動を除外するものではありませんが、「学習成果」と関連付けて記載してください。

**Q 4** レクチャー①、レクチャー②の内容は志望する学群・学類に関連した内容が出るのですか。

**A 4** 全学類の受験者に対して同じ内容のレクチャーを行いますので、必ずしも志望する学群・学類に関連した内容ではありません。

**Q 5** レクチャー②は、第1次選考のレクチャー①と関連する内容ですか

**A 5** レクチャー②の内容は、レクチャー①のテーマを踏まえ、多様な視点を加えて発展させたものを予定しています。

**Q 6** レクチャーレポート作成のためには、どのような対策が必要ですか。

**A 6** 高等学校等での授業の時に先生が話した内容についてメモをとり、自分で整理することがとてもよいトレーニングになります。

**Q 7** 総合型選抜で入学することのメリットは何ですか。

**A 7** 総合型選抜合格者は、入学時から学類が決定しているため、1 年次から、各学類の 2 年次からの専門的な学びを見通した学修に取り組むことができます。

**Q 8** 学校推薦型選抜・一般選抜との併願はできますか。

**A 8** 本学の学校推薦型選抜・一般選抜にも出願することができます。ただし、総合型選抜に合格し、入学手続を済ませた後は、他の入試区分の入試を受けても合格者とはなりません。

## ● 学校推薦型選抜に関すること

**Q 9** 総合型選抜・一般選抜との併願はできますか。

**A 9** 本学の総合型選抜・一般選抜にも出願することができます。ただし、学校推薦型選抜に合格し、入学手続を済ませた後は、他の入試区分の入試を受けても合格者とはなりません。なお、他の国公立大学の学校推薦型選抜とは併願できませんので、注意してください。

**Q 10** 大学入学共通テストの得点はどのように扱われますか。

**A 10** 本学が指定する教科・科目の大学入学共通テストの合計点は、出願書類の内容および面接の成績とともに、総合的な合否判定に利用します。

## ● 一般選抜に関すること

**Q 11** 数学や理科の個別学力検査の出題範囲を教えてください。

**A 11** 事業構想学群と食産業学群で課される数学においては、「数学Ⅰ」「数学 A」「数学Ⅱ」「数学 B」の全範囲から出題します。ただし、「数学 A」は「場合の数と確率」「整数の性質」「図形の性質」の 3 項目の内容のうち 2 項目以上を、「数学 B」は「数列」「ベクトル」「確率分布と統計的な推測」の 3 項目の内容のうち 2 項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答できるようにします。  
また、食産業学群の個別学力検査において、理科は「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」から 1 科目の選択とし、いずれも全範囲からの出題とします。

## 新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学志願者への配慮等について

新型コロナウイルス感染症に罹患した入学志願者の受験機会を確保するため、総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国子女・社会人・外国人留学生等の特別選抜、一般選抜において追試験を設定します。  
詳細は、各選抜の学生募集要項にてご案内します。なお、学生募集要項は各選抜出願受付の約 2 か月前に本学ウェブサイトにて公表します。

令和 3 年度入学 入試結果

| 入試の単位       | 区分    | 学群     | 学類          | 募集人員 | 出願者数 | 第 1 次選考<br>受験者数 | 第 1 次選考<br>合格者数 | 第 1 次選考<br>実質競争<br>倍率 | 第 2 次選考<br>受験者数 | 第 2 次選考<br>合格者数 | 第 2 次選考<br>実質競争<br>倍率 | 入学者数 |
|-------------|-------|--------|-------------|------|------|-----------------|-----------------|-----------------------|-----------------|-----------------|-----------------------|------|
| 学類単位の<br>入試 | 総合型選抜 | 看護学群   | 看護学類        | 8    | 64   | 64              | 24              | 2.7                   | 24              | 13              | 1.8                   | 13   |
|             |       | 事業構想学群 | 事業プランニング学類  | 8    | 30   | 30              | 24              | 1.3                   | 24              | 8               | 3.0                   | 8    |
|             |       |        | 地域創生学類      | 8    | 24   | 24              | 18              | 1.3                   | 18              | 11              | 1.6                   | 11   |
|             |       |        | 価値創造デザイン学類  | 8    | 39   | 39              | 25              | 1.6                   | 25              | 12              | 2.1                   | 12   |
|             |       | 食産業学群  | 食資源開発学類     | 8    | 11   | 11              | 9               | 1.2                   | 9               | 9               | 1.0                   | 9    |
|             |       |        | フードマネジメント学類 | 8    | 30   | 30              | 24              | 1.3                   | 24              | 12              | 2.0                   | 12   |

| 入試の単位       | 区分           | 学群     | 募集人員 | 出願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 実質競争<br>倍率 | 入学者数 |
|-------------|--------------|--------|------|------|------|------|------------|------|
| 学群単位の<br>入試 | 学校推薦型<br>選抜  | 看護学群   | 24   | 82   | 79   | 25   | 3.2        | 25   |
|             |              | 事業構想学群 | 40   | 89   | 89   | 45   | 2.0        | 45   |
|             |              | 食産業学群  | 28   | 28   | 28   | 22   | 1.3        | 22   |
|             | 一般選抜<br>(前期) | 看護学群   | 48   | 143  | 117  | 54   | 2.2        | 54   |
|             |              | 事業構想学群 | 100  | 351  | 297  | 120  | 2.5        | 116  |
|             |              | 食産業学群  | 62   | 152  | 117  | 90   | 1.3        | 84   |
|             | 一般選抜<br>(後期) | 看護学群   | 10   | 120  | 38   | 10   | 3.8        | 9    |
|             |              | 事業構想学群 | 20   | 363  | 123  | 26   | 4.7        | 21   |
|             |              | 食産業学群  | 12   | 241  | 54   | 13   | 4.2        | 8    |

令和 3 年度出身校所在地別志願者数・入学者数

| 出身校<br>所在地 | 看護学群 |     |     |      |    |     | 事業構想学群 |     |     |      |     |     | 食産業学群 |     |     |      |    |     |
|------------|------|-----|-----|------|----|-----|--------|-----|-----|------|-----|-----|-------|-----|-----|------|----|-----|
|            | 志願者数 |     |     | 入学者数 |    |     | 志願者数   |     |     | 入学者数 |     |     | 志願者数  |     |     | 入学者数 |    |     |
|            | 男    | 女   | 計   | 男    | 女  | 計   | 男      | 女   | 計   | 男    | 女   | 計   | 男     | 女   | 計   | 男    | 女  | 計   |
| 北海道        | 0    | 6   | 6   | 0    | 1  | 1   | 6      | 0   | 6   | 2    | 0   | 2   | 7     | 6   | 13  | 3    | 2  | 5   |
| 青森県        | 2    | 19  | 21  | 1    | 4  | 5   | 9      | 36  | 45  | 4    | 11  | 15  | 11    | 23  | 34  | 1    | 10 | 11  |
| 岩手県        | 1    | 32  | 33  | 0    | 9  | 9   | 19     | 24  | 43  | 5    | 8   | 13  | 7     | 18  | 25  | 2    | 7  | 9   |
| 宮城県        | 14   | 238 | 252 | 4    | 59 | 63  | 283    | 335 | 618 | 67   | 78  | 145 | 68    | 157 | 225 | 23   | 48 | 71  |
| 秋田県        | 1    | 21  | 22  | 0    | 5  | 5   | 9      | 13  | 22  | 3    | 5   | 8   | 3     | 5   | 8   | 2    | 1  | 3   |
| 山形県        | 1    | 13  | 14  | 0    | 2  | 2   | 16     | 26  | 42  | 2    | 4   | 6   | 1     | 5   | 6   | 0    | 0  | 0   |
| 福島県        | 0    | 37  | 37  | 0    | 10 | 10  | 21     | 30  | 51  | 5    | 7   | 12  | 8     | 19  | 27  | 1    | 3  | 4   |
| 東北 6 県     | 19   | 360 | 379 | 5    | 89 | 94  | 357    | 464 | 821 | 86   | 113 | 199 | 98    | 227 | 325 | 29   | 69 | 98  |
| 関東         | 0    | 15  | 15  | 0    | 1  | 1   | 21     | 15  | 36  | 2    | 2   | 4   | 21    | 23  | 44  | 4    | 4  | 8   |
| 中部         | 0    | 5   | 5   | 0    | 3  | 3   | 14     | 13  | 27  | 3    | 2   | 5   | 27    | 35  | 62  | 7    | 10 | 17  |
| 近畿         | 1    | 2   | 3   | 1    | 1  | 2   | 2      | 1   | 3   | 0    | 1   | 1   | 5     | 7   | 12  | 1    | 3  | 4   |
| 中国・四国      | 0    | 0   | 0   | 0    | 0  | 0   | 1      | 0   | 1   | 1    | 0   | 1   | 0     | 4   | 4   | 0    | 1  | 1   |
| 九州・沖縄      | 0    | 1   | 1   | 0    | 0  | 0   | 0      | 1   | 1   | 0    | 1   | 1   | 2     | 0   | 2   | 2    | 0  | 2   |
| その他        | 0    | 0   | 0   | 0    | 0  | 0   | 3      | 3   | 6   | 1    | 1   | 2   | 3     | 1   | 4   | 1    | 1  | 2   |
| 合計         | 20   | 389 | 409 | 6    | 95 | 101 | 404    | 497 | 901 | 95   | 120 | 215 | 163   | 303 | 466 | 47   | 90 | 137 |